

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.5	
Q1 室内環境					0.40	-	-	3.2	
1 音環境				3.6	0.15	-	-	3.6	
1.1 室内騒音レベル		-		3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音		T-2以上		4.2	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		-		5.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能		-		3.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-		-	-	-	-		
1.3 吸音		天井と床に吸音材を使用		4.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				2.4	0.35	-	-	2.4	
2.1 室温制御		-		3.0	0.50	-	-		
1 室温		-		3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		-		3.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性		-		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		-		3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式		-		1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				3.9	0.25	-	-	3.9	
3.1 昼光利用		-		3.4	0.30	-	-		
1 昼光率		-		3.0	0.60	-	-		
2 方位別開口		-		-	-	-	-		
3 昼光利用設備		トップサイドライトの採用		4.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策		-		4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		ブラインドと庇で制御している		4.0	1.00	-	-		
3.3 照度		-		3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		センサーによる自動照明制御を計画		5.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.7	0.25	-	-	3.7	
4.1 発生源対策		F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用		4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		-		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気		-		3.0	0.30	-	-		
1 換気量		-		3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が床面積の1/15以上		5.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		-		1.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理		-		4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		-		3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4	
1 機能性				3.4	0.40	-	-	3.4	
1.1 機能性・使いやすさ		-		2.3	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		-		1.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-		2.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画		建築物移動等円滑化基準を満たす		4.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性		-		4.3	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		天井高2.9m以上		5.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースと自販機を計画している		5.0	0.33	-	-		
3 内装計画		-		3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理		-		4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		トイレの壁床に防汚性の高い仕上げを採用		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		各フロアにSKを設置		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.4	0.30	-	-	3.4	
2.1 耐震・免震・制震・制振		-		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		-		3.8	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		ALCフッ素樹脂塗装		5.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:タイルカーペット、壁:ビニルクロス、天井:DR		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:SUS、排水:VP、冷媒:CUP		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		-		3.8	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		空調・換気設備の系統区分を計画		5.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		節水型器具を採用		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備		-		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスAの支持方法を採用		4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		-		3.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性			3.5	0.30	-	-	3.5
	3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	空間形状の自由さが高い計画としている	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	配管配線	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.9
1	生物環境の保全と創出		地域に適した植栽を採用	5.0	0.30	-	-	5.0
2	まちなみ・景観への配慮		-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	かまどベンチを設置し、防災に配慮している	5.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.9
1	建物外皮の熱負荷抑制		高い外皮性能を確保	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		設備の高効率化を行っている	4.1	0.50	-	-	4.1
	集合住宅以外の評価			4.1	1.00	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1	材料使用量の削減	-	3.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロアの採用	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.4	0.20	-	-	3.4
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.6	0.70	-	-	
	1	消火剤	窒素ガスの採用	4.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	GWPが10以下の発泡剤を採用	4.0	0.33	-	-	
	3	冷媒	-	3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.5
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率に配慮している	4.5	0.33	-	-	4.5
2	地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	駐車場の出入口を分けている	4.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	-	3.0	0.50	-	-	
	2	振動	-	3.0	0.50	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明に配慮している	4.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	7.0	-	○	○	-	-	○	-	-	○	○	○	-	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	7.0	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	3.0	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	3.0	3.0	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	13.0	-	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	5.0	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0	-	-	2.0	-	2.0	-	2.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	2.0	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0	-	1.0	-	3.0	3.0	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	-	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m ² K)	-	窓システム	-
住戸部分	-	屋根	-
窓システムU値	-	外皮UA値	-
外壁	-	η AC	-
床	-	η AH	-
屋光率	-		
自然換気有効開口面積率	7.5%		

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	-	/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-
コンセント容量	-	VA/m ²							
天井高	3 m								
リフレッシュスペース	10.2%		レストスペース	-					
想定耐用年数	-	年							
想定必要間隔	40 年								
想定必要間隔	20 年								
想定必要間隔	-	年							
階高	5 m								
壁長さ比率	12.0%								
床荷重	-	N/m ²							

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	28%	建物緑化指数	5%
空地率	-	水平投影面積率	-
地表面対策面積率	-	舗装面積率	-

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.78	断熱等性能等級	対象外 相当
自然エネルギー直接利用量	-	MJ/年m ²	採光を満たす教室数 -
通風を満たす教室数	-	通風を満たす住戸数	-
太陽光	20.0kW	太陽熱等	-
蓄電池	-		-
BEI/BEI _m	再エネ有	0.46	無
一次エネ削減率	再エネ有	無	-

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%
特定調達品目	-
エコマーク商品	再生クラッシュラン自治体指定の特定品目等
使用比率	-
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
オゾン層破壊係数(ODP)	0
地球温暖化係数(GWP)	3
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	-	隣棟間隔指標R _w	-
地表面対策面積率	-	屋根面対策面積率	-
外壁面対策面積率	-		
見付面積S _b	-	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	-
基礎高さH _b	-	m	
緑地	m ²	水面	m ²
保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²
再帰性反射対策面	m ²		